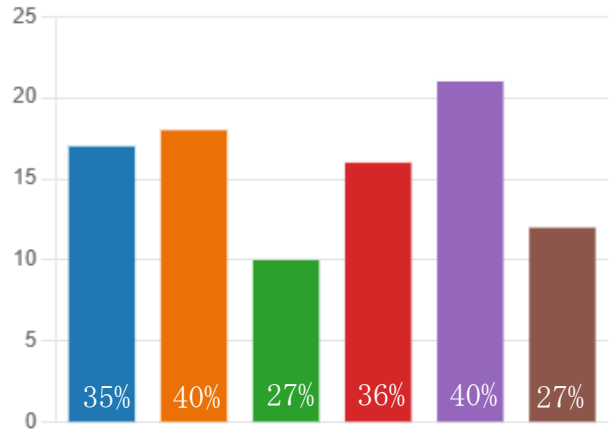
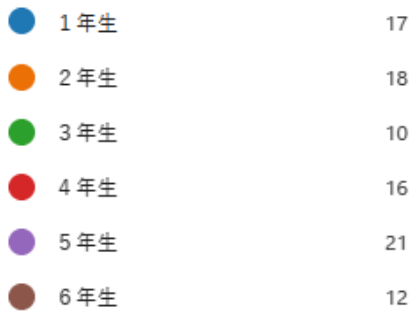


R4.12.15 個人面談アンケート結果

1. お子さんの学年を教えてください。

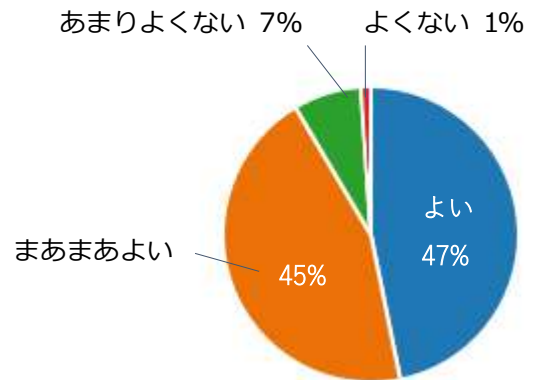
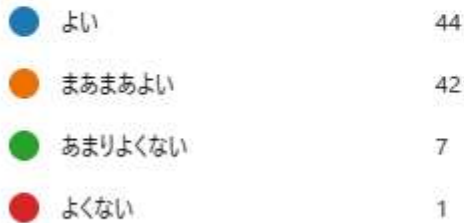
詳細



※上記の「%」は各学年の児童数に対する回答割合

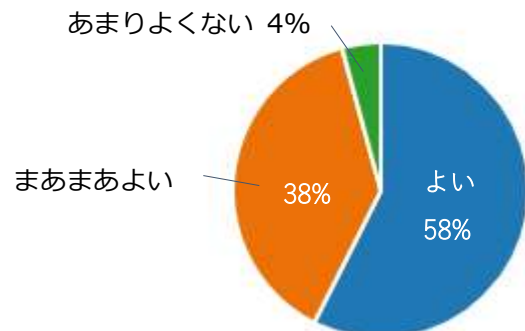
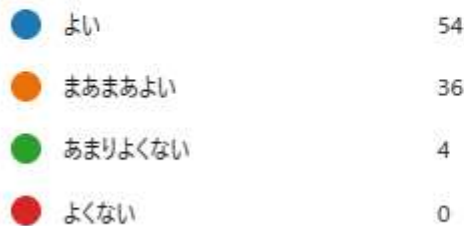
2. 開催時期はどうでしたか。

詳細



3. 実施内容はどうでしたか。

詳細



4. ご意見・ご感想（個人名がわかる箇所や人権に関わる箇所は削除しております）

- ・面談は希望者だけにしたほうが良いと思う。
- ・お忙しい中、貴重なお時間を頂きありがとうございました。
- ・学校での様子を教えてもらえて、良かったと思います。
- ・普段は連絡帳でのやりとりなので、直接先生に学校での様子を色々聞くことができよかったです。
- ・学校での子供の様子を知ることができ良かったです。感染対策などにも気を配って下さっているの
で安心して登校させることが出来ております。ありがとうございます。
- ・少し 1 人あたりの時間が足りない気がします。 どうしても毎回次の方の時間にかかってしまいま
す。
- ・子供の良いところをたくさん見つけてもらえたり、家では見えない部分（このあとは消えていまし
た：校長）
- ・初めて先生が話して下さった学校内での子供の様子と、本人から聞く事が一致しました。時間を間
違えてしまったのですが、普段よく目を配って下さっている事、失礼な私にもすごく丁寧に対応し
て頂いて感謝しています。
- ・子供の学校での様子が聞いてよかったです。 担任の先生と話す機会がなかなか無いので、沢山話を
聞いたこと、嬉しく思います。
- ・先生と直接お話する機会もあまりないので、あと 10 分ぐらい面談時間が長くてよかったですかなと
感じました♪
- ・授業参観がないのは残念ですが、二者面談で学校での子供の様子が聞いて、良かったです。
- ・相談する機会があり、よかったです。
- ・先生が丁寧に学校生活のことを詳しく教えて下さいました。家での生活も親身に聞いて頂きありが
とうございました。
- ・先生と直接お話しする事ができ、有意義な時間でした。面談した机の近くにお花が飾られており先
生の細やかなお気遣いにとても感動しました。お忙しい中貴重なお時間をありがとうございました。
- ・日頃の学校での様子などが聞いて良かったです。ありがとうございました。
- ・日頃からの温かいご指導ありがとうございます。 入学してから 8 か月間、担任の先生と個別にお
話する機会がないことに少々不安を感じていました。もう少し早い時期に一度開催していただき、
11 月は希望制にする等ご検討いただけるとありがたいです。
- ・先生との情報共有の場なので、前半の時期の実施が良いと思う。夏休み中などに実施してもらえ
ると時間的な余裕もあって良かったと思う。
- ・コロナ禍が続く中、先生方の細やかな取り組みに感謝しております。 面談では普段見えない子供の
様子を伝えていただけるので、開催して下さるだけでもありがたいです。
- ・日頃から、先生と連絡帳等で気になることはお話していたので、特に面談で何か特別なことをお話
することはありませんでしたが、先生とゆっくりお話できる機会をいただけるのは、ありがたいな
と思います。
- ・短時間でしたが、学校での様子を聞くことができよかったです。時間が短いので、いろいろ話す
と次の方を待たせてしまうのではと落ち着かない気はしました。
- ・いつも大変お世話になっております。コロナ感染流行下が続いています。いますが、こども達の心
身の影響というものは、あるのでしょうか？何かございましたら、教えていただけると幸いです。
- ・開催時期をもっと早くにしてほしい。
- ・お忙しい中、ありがとうございました。

●校長から

- ・12/13 から 12/15 までの 3 日間で 94 件の回答がありました。ご協力ありがとうございます。
- ・開催時期・開催内容については、肯定的評価（よい+まあまあよい）がいずれも 92%以上と概ね好評だったととらえております。
- ・担任の都合で、計画通りにできなかった家庭もありました。申し訳ありませんでした。
- ・子供たちは、毎日およそ 7 時間を学校で過ごしています。登校日が約 200 日ですので、年間では、1400 時間ほどとなります。年間 365 日（8760 時間）のうち、その 16%ほどを学校で過ごしていることとなります。子育ての基本は 84%を過ごしている家庭と考えますが、家庭と学校とでお子さんの情報を共有し、同じ歩調で育もうとすることは重要なことと考えます。そういった点からも有意義な時間だったと思います。
- ・いくつかご意見をいただいたように、もう少し早い時期に実施したいと、教員からも意見が出ています。次年度に向け、開催時期を検討してまいります。また、その意義を考えると、年に最低 1 回は、すべての保護者の方と担任とで話す機会があると良いと考えます。やはり、連絡帳や電話では伝わらないこともたくさんありますし、お子さんの話を聞くだけでは辻褄が合わないことが度々あると思います（それでも、肯定的によく聞いてあげてください）ので、対面での面談を続けていきたいと思っております。
- ・近年、授業時数が増えて（6 年生では、2002 年から週 27 コマ、2011 年から週 28 コマ、2020 年から週 29 コマ）おり、なかなか授業時間を削って時間を生み出すことが難しくなっています。今回、時間が短いと感じた方は、面談期間に限らず、担任へ申し出てくださいと、日程を調整し、個別にお話する機会を取りますので、遠慮なくご連絡ください。
- ・コロナ禍による子供の心身への影響はとてもの大きいととらえています。まず、学校では、マスクをしていない友達、教員をほとんど見ていません。また、友達同士が接近・接触する教育活動ができていません。相手の表情を読み、困っていそうだったら優しい言葉をかけてあげたり、楽しそうだったら一緒に笑ってあげたりすることができていません。「相手の表情を読むこと」は、現在、本校の課題でもある「読解力」の弱さにもつながっていると考えます。また、友達を背負って歩いたり、合奏したりすることができないので、「自分」と「他人」との距離がつかめない子が多くいます。自然に身に付くはずである「距離感」を感じることはできないのです。学校には、いろいろな子がいます。その子ごとに、別々の相手への距離感を、自分でつかんでいかなければなりません。それができていない子が多くいます。そのため、いつも不機嫌な子が増え、ちょっとしたトラブルも頻発しています。しかし、すぐにマスクなしで生活するには、危険度が高すぎます。感染してはいけない子やその家族がいるからです。一日も早くマスクなしで普通の生活ができるようになることを願っています。そのためにも、体調が少しでも悪いときは休養を取る、家族の具合が悪いときは登校を控える、人が集まる場所へは行かないなど、「うつらない」「うつさない」対策にご協力ください。治って登校できるようになったら、シトラスリボンの精神でやさしく迎えてあげましょう。